

下川沿 中 学 区

1 はじめに

校舎が隣接していて、互いの教育実践を把握しやすい利点を生かし、学習指導や生徒指導の共通実践事項を確認し合いながら小・中連携に取り組んだ。また、児童生徒の実態について情報交換を行うとともに、家庭や地域との連携の在り方についても共通実践を図った。

2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
5月22日	第1回小・中連携研究部会（下中）	11月16日	保小中P公合同研修会
6月16日	学校・家庭・地域連携推進委員会	11月21日	第2回小・中連携研究部会（川小）
11月 6日	下中新入生授業参観，授業体験	1月 9日	第3回小・中連携研究部会（下中）

3 活動の実際

(1) 小・中連携研究部会（授業参観・協議）

① 第1回小・中連携研究部会（下川沿中学校会場：中学校の授業を参観）

両校の研究概要を確認した後、各部会に分かれて共通実践事項を話し合った。その結果、「家庭学習強調週間を小・中で同じ時期に設定する」「家庭学習のススメを中学校でも作成、活用する」「一人勉強5つのスローガンを小・中で取り組む」「あいさつ運動を小・中同じ期間に行う」「クリーンアップを小・中合同で行う」「アルミ缶・プラタプの回収状況を報告すること」「危険箇所看板の設置と撤去を協力、分担して行う」などを決定した。

② 第2回小・中連携研究部会（川口小学校会場：小学校の授業を参観）

両校の研究実践の報告の後、各部会の共通実践事項の振り返りを行い、次のような内容を確認した。小学校段階で家庭学習の習慣を身に付けると、中学校のテスト期間でも集中して取り組める。家庭学習のススメを見ながら親子で話し合う家庭も見られた。あいさつは、中学生を手本にしながら取り組むことができた。クリーンアップは実施時期や場所を多少変更して来年度も取り組む。

(2) 交流事業

① 小学生の授業参観・授業体験

小学校6年生が中学校全学年の授業を参観したほか、中1の英語科の授業にも参加した。中学生が小学生をリードしながら、互いに英語で会話することができた。

② 学校（保・小・中）・家庭・地域の連携

6月の学校・家庭・地域連携推進委員会では、年間予定や協力体制を確認し、11月の保小中P公合同研修会では、学校・家庭・地域が連携した情報モラル指導について研修を行い、地域が一体になって子どもを支える意識を高めた。



【共通実践の振り返り】

4 おわりに

今年度は新任職員が多かったが、第1回連携研究部会において小・中の共通実践事項を明確に定めたため、スムーズな実践、振り返りができた。来年度も今年度の課題を踏まえつつ、PDC Aサイクルで共通実践を積み重ねていきたい。